

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

3階 介護 佐藤 光之

昨年の 12 月 23 日にクリスマス会を行いました。今回のクリスマス会では職員がサンタクロースのコスチュームを着て、抽選会やカラオケ大会を行いました。

カラオケ大会では、積極的に歌われる方もいらっしゃいましたが、一人で歌うのが恥ずかしい方も多く職員と一緒に歌いました。

抽選会は、時計やクッションが景品として準備され、「今年の景品は良いな」「年とってもプレゼントは嬉しいな」等話されとても好評でした。

また 12 月 29 日には 1 階の職員によりハンドベルの演奏が披露され、美しいベルの音色にとっても感動されていました。これからも利用者の皆様が楽しんでいただけるような催しを提供して行きたいと思えます。



2階 介護 田中 大悟

1 月 13 日に新年会を行いました。コロナ禍の影響により行える行事や催しは限られておりますが、今年の新年会も例年通りに開催することができました。

新年会では年男、年女の発表と代表者から今年の抱負を述べていただき、餅つきを行いました。餅つきでは「よいしょ、よいしょ」の掛け声とともに利用者の方と職員が協力してお餅をつきました。つきたてのお餅はとても柔らかく、利用者の皆様に大変好評でした。

最後は皆様におみくじを引いていただき、大吉や中吉と共に一緒に書かれた文を読み、「今年は良い年になりそうだ」と喜ばれ、楽しいひと時を過ごしていただけたようでした。



3階 看護 上山 昌子

今年も早1ヶ月が過ぎようとしています。利用者の皆様におかれましては体調を崩すことなく、元気に新年を迎えていただくことが出来ました。

1月の中旬頃までは暖かな日が続き雪のない冬がつづいておりましたが、10年に一度といわれた寒波の襲来により急激に気温は下がり、例年よりは少ないながらも雪が積もりました。

急激な気温の低下により、利用者の皆様が体調を崩す事のないよう室温や湿度の管理に気を配り、環境の整備に努めていきたいと思っております。

ご家族の皆様も不安定な天候が続いておりますので、体調を崩すことのないようご自愛ください。



相談室 佐々木 祥子

当施設の提供する介護保健施設サービスについて、要望やお気づきの点が御座いましたら面会時などに遠慮なく、窓口へお申し出ください。

又、玄関に備え付けてある「ご意見箱」に投函することもできます。

「しょうわ」ではご家族皆様の意見を反映させながら、より良い施設サービスを提供していきたいと考えております。



【面会についてのお知らせ】

新型コロナウイルス感染防止のため、現在全ての面会を中止させていただいております。

面会制限解除の際は随時ホームページ等でお知らせ致します。

また10日以内に県外への往来があった方や県外往来者との接触があった方は入館をご遠慮いただいております。

上記の方は、備付けのインターホンをご使用いただくか、☎0184-23-7100までご連絡をお願い致します。

ご家族の皆様には長期間にわたり、ご不便やご心配をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

なおご不明な点がございましたら職員にお尋ね下さい。

○お問い合わせ先
介護老人保健施設「しょうわ」
0184-23-7100 (代)